

## 企画研究委員会・東日本支部 共催セミナー

お知らせ『実践を学術研究・論文作成に結びつけるために』

企画研究委員会・東日本支部の共催による『実践を学術研究・論文作成に結びつけるために』と題したセミナーを下記のとおり開催いたします。

- 1 テーマ 『実践を学術研究・論文作成に結びつけるために』  
～研究年報掲載論文を題材に論文の書き方、研究の進め方を考える～』

### 2 企画主旨

これまでインターンシップ学会では、企画研究委員会（前企画研究 WG）、年報編集委員会と各支部の合同でインターンシップ研究の多様な研究手法に関する理解を深めるための研究会を複数開催して参りました。毎回、研究会に多くの会員の方々が参加され、インターンシップ研究の意義やその手法に関する理解を深めることに貢献できたものと思われまます。

もっとも、これらの研究会を受講後、いざ論文を書こうとすると、ふと筆が止まってしまう人もいたかと思われまます。この問題の解決策としては、各自の専門分野の論文の書き方に関する書籍を読む、大学院生であれば、指導教授の指導を仰ぐなどの方策が用意されていますが、本学会の会員の方、すべてがこのような機会に恵まれているわけではありません。

そこで、研究の意義や多様な研究手法や対する理解を得た後、日々の実践を研究成果としての論文に結び付けるための次のステップとして、自ら論文の構造を理解し、論文の型を身につけるための企画を実施することとしました。

その方策は複数ありますが、今回は、研究年報掲載論文を題材に取り上げ、論文の書き方、研究の進め方を検討する演習方式の研究会を実施することとなりました。

### 3 研究会の内容

- 1) 今回の研究会では、これまでの開催方式を一步進め、双方向の演習方式で開催する予定です。具体的にはインターンシップに関する論文を書く上で参考となる論文を題材に、参加者が論文の構造を考えるワークシート（事前配布）を使用しながら、当該論文の構造を分析して研究会に臨んで頂きます。

研究会当日は、2 部に分けて実施します。前半は、課題論文の構造を考える部とし、事前に配布したワークシートを基に各自の分析結果を共有し合いながら、課題論文の構造分析を行います。後半は、課題論文を読んでみて、それぞれが感じたこと、課題論文の課題や限界などを研究会参加者との間で討議してみたいと思います。

このように課題論文を題材に、論文の構造を理解し、論文の書くうえでの約束事を身につける予定です。これまでと異なり、参加者ひとりひとりに積極的な発言を求めながら研究会を進めて参りますので、奮ってご参加ください。

#### 2) 課題論文

古田 克利 「インターンシップ実習中の自律性充足が大学生のキャリア自己効力感に及ぼす影響」  
（インターンシップ研究年報 17(0), 1-10, 2014）

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsiwi/17/0/17\\_1/\\_article/-char/ja/](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsiwi/17/0/17_1/_article/-char/ja/)

※ 各自でご用意の上、ご参加ください。

### 3) ワークシート項目

- ① 本論文は、どのようなテーマだったでしょうか？
- ② 本論文の目的は、どのような問題に対して、どのような仮説を立て、何を明らかにするものだったでしょうか？
- ③ この分野に関する先行研究として、どのようなものが示されていましたか？
- ④ どのような研究方法が用いられていましたか？  
 質的研究、  量的研究
- ⑤ どのような結果が提示されていましたか。
- ⑥ 研究の結果、どのようなことが明らかになりましたか（考察）。

### 4 詳細

【日 時】 2021（令和3）年6月19日（土） 10:00~12:00

【形 式】 オンライン（Zoom）開催

【参加費】 無料 【定 員】 20名

【申込方法】 研究会に参加希望の方は、以下の google フォームよりお申し込みをお願いいたします（必要事項のご記入をお願いいたします）。規定の人数に達した場合は途中で締め切らせていただく場合があります。

<https://forms.gle/r4FrWdIoNRKyPVe58>

【申込締切】 2021年6月13日（日） ※ 先着20名

【当日の参加方法】 前日までに zoom のミーティング ID、パスワードをご登録いただいたメールアドレスに送信いたしますので、開始時間までにアクセスをお願いいたします（開始20分前よりアクセス可能となります）。

### 5 スケジュール

10:00 開会挨拶

10:05 第一部 検討論文の構造を把握する  
（ファシリテーター 薬師丸正二郎（立教大学））

10:45 休 憩（15分）

11:00 第二部 検討論文の問題意識を共有し、日々の実践・研究に活かす  
（ファシリテーター 薬師丸正二郎（立教大学）、稲永由紀（筑波大学）、見館好隆（北九州市立大学））

11:45 総括

12:00 閉会

### 6 お問い合わせ

- ・ 日本インターンシップ学会 東日本支部事務局  
E-mail ; [jsikanto@gmail.com](mailto:jsikanto@gmail.com)
- ・ 研究会の内容に関するお問い合わせは、以下をお願いいたします。  
宛先) 薬師丸 正二郎（立教大学） [yakushimaru0625@rikkyo.ac.jp](mailto:yakushimaru0625@rikkyo.ac.jp)

以上